

国際的なダイヤモンド・ジュエリーカンパニーとして、長年のノウハウと実績を積み重ね、世界初、日本初、業界初のさまざまな取組みを実現させています。

日本の中の小さな外国「東京税関長認可・保税蔵置場」

内原グループでは、長年にわたる豊富な輸入実績により、1995年3月、東京税関長から「保税」の特別許可をいただき、「保税蔵置場内でのジュエリー展示会（保税展）」を、毎年続けて開催しています。

「保税」とは、海外から来た品物が、日本国内であっても、通関前で、関税、消費税がかかっていない状態をいいます。

「保税蔵置場」とは、通関前のまだ税金を納めていない「保税」の状態での保管・検品・展示することができる、特別な場所のこと。

内原東京本部内に設置された「内原東京保税蔵置場」は、国内にありながら、税務的には海外。

いわば、「日本の中の小さな外国」、成田空港や関西空港の「出国ゲートの向こう側」のような場所です。

「保税展」では、1995年より今日まで、20カ国、100社の海外ジュエリーを出品し、6万名様にご入場いただきました。

この「保税展」では、お客様が保税エリアの中に入り、保税ジュエリーの数々を、直接お手にとって、また実際に身に付けてお選びいただけます。

内原グループは、「保税展」で、海外にて発表された新作ジュエリーを幅広く多彩に取り揃え、いち早く紹介することで、お客様より多大なご好評をいただいております。

